

概要

可能な回転操作の全てを行い、操作後のフィールドを最大クラスタの大きさの合計の値などで評価する。その際評価値の低いものは放棄される。評価値に基づいて最優良探索に近い形で探索を行う。

特徴

上記の探索では計算量が莫大なものとなるため通常のCPUだけによる演算ではこれを行うことが難しい。そのため800個のプロセッサエレメントを持つGPUの並列計算能力によりこれを実現する。GPGPU環境にはATI Stream Computingを利用する。

ハードウェア構成

ノート型のコンピュータに搭載されているグラフィックス能力では満足に演算を行うことが出来ないため、問題の取得や回答操作に使われるものとは別にコンピュータを

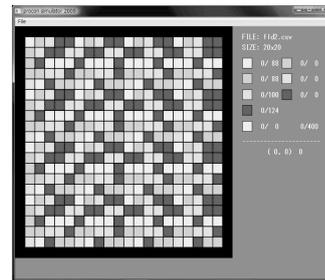
用意する。

計算用コンピュータ構成

OS: Devian GNU/Linux

CPU: Phenom II X4 945

GPU: Radeon HD 4870 (VRAM 2GB)



クライアントソフトウェア(Windows)

開発環境

GCC

ATI Stream SDK

Microsoft Visual C++